



爽風 2023

新年 あけまして おめでとうございます。

17日間の冬休みを終え、子供たちが元気に登校してきました。大きなけがや病気、事故等無く過ごすことができたのは、ご家族や地域の皆様のおかげだと感謝しています。数名から話を聞きましたが、手伝いがんばったこと、新年の誓いを立てたこと、そして楽しかった出来事を笑顔で伝えてくれました。



ただ、元日から地震や津波、飛行機事故、火災等のニュースには心を痛める方が多くいらっしゃると思います。始業式のあいさつでも能登半島地震に触れ、被害に遭っている人の気持ちを想像し、改めて災害に対して考えたり行動したりすることの大切さについて話をしました。連日の報道は「いのち」について考えさせられます。ご家庭での話題にもしていただきたいものです。

さて、令和6年、辰年の「辰」は語源辞典に「動いて伸びる、整うの意味で、草木が盛んに成長していくこと、整った状態になる」とあります。ここから干支として伝説の動物の龍・竜がふさわしいとされたそうです（加津佐町の地名『登龍』はまさに今年の縁起の良さを感じます）。龍にあやかって、子供たちには今年1年龍のように空（めあて）に向かって伸びていこう、様々なことにチャレンジしていこうと呼びかけました。

3学期も職員一同子供たちの思い・願いを大切にされた教育活動を進め、一人一人を高め、次の学年・学校へとつなげる期間にしていきます。楽しく充実した学校生活が送れるように全力を注いで参ります。どうぞ、これまでと変わらぬご理解とご支援をお願いします。



口之津公園より
(森教諭撮影)

『高める』と『つなげる』

3学期は、これまでの学び（学力・行動力…）のまとめをして自分の高まりを自覚していくことが大切としています。そしてその高まりを次年度にもつなげるようにしていく。個人でも集団でも。よい伝統や校風もそうやって受け継がれてきたと言えます。

始業式で、4年生の林 大地さんは「読む力をつけるために読書をする事、忘れ物と整理整頓に注意すること」、氏原 愛菜さんは「漢字を覚えることと挨拶やあったか言葉を言えるようになること」を頑張ることとして発表してくれました。感心したのは、二人とも『高学年という意識をもって役割を果たしていく、そして下級生の面倒をみる5年生になる』まで話してくれたことです。

強い意志を感じてうれしくなりました。活躍が期待できます。

大谷選手からの贈り物

昨年12月25日、まさにクリスマスプレゼントでした。本校にも3個のグローブが届きました。冬休み中で子供たちに紹介もできず、やっとお披露目ことができました。

グローブは右利き用2個、左利き用1箇の組み合わせで大谷選手のサインが印字されています。子供たちへのメッセージが込められた手紙も添えられていました。



その全文は以下の通りです。

※手紙を書かれたタイミングが移籍前のため、所属はエンゼルスのままです。

学校関係者各位 貴校ますますご清栄の事とお慶び申し上げます。

ロサンゼルス・エンゼルス・オブ・アナハイムのメジャーリーガー、大谷翔平です。

この手紙は、このたび私が学校に通う子供たちが野球に興味を持ってもらうために立ち上げたプログラムをご紹介するためのものです。

この3つの野球グローブは学校への寄付となります。それ以上に私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。

このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からのこの個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただければ幸いです。

この機会にグローブの寄贈をさせていただけることに感謝いたします。貴校の益々のご発展をお祈り申し上げます。

野球しようぜ。

大谷翔平

今回の寄贈には、「野球を・・・」という言葉がありますが、私としては大谷選手の思いを受けて、自分の夢を持ち、夢がかなえられるように自ら行動していく、そんな子供たちになってほしいと考えています。



『かづさるく to 岩戸山』の開催！』

2月2日（金）の午後、昨年度も実施した『かづさるく』（フィールドワーク）を行います。詳細は後日お知らせします。ふるさとを知る機会に参加されませんか。